

港湾振興便り



2012. 7

第63号

:~

目 次

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*~

- 1 ポートエッセイ 「列島強靱化の視点からも各地の港湾整備に力を」
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～
- 2 トピック
 - 『港湾における今後の地震対策・津波対策』講演会を開催
(北海道開発局 港湾空港部)
 - 『たてやま海まちフェスタ2012』に参加しました
(関東地方整備局 港湾空港部)
 - 『瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定』締結式について
(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会事務局)
 - 愛媛県二神島沖船舶衝突事故による流出油防除作業について
(四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所)
 - ～考えよう私たちの未来～ 『国際バルク港ミーティング in 志布志』
(九州地方整備局 志布志港湾事務所)
- 3 お知らせ

::*:*:*:*:*~

- 1 ポートエッセイ 「列島強靱化の視点からも各地の港湾整備に力を」
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

::*:*~

昨年3月11日の大震災で日本海側の港湾が大きな救援拠点としての役割を果たしました。昨年、日本港湾協会から「ポート・オブ・ザ・イヤー2011特別賞」に秋田港や能代港、酒田港、新潟港の4港が選ばれたのも、被災した太平洋側港湾の代替機能を発揮したことによるものと受け止めています。

今年度に入っても、東京などに出向くと日本海側への関心が高まっていると感じることが多くなりました。その背景には、首都圏や太平洋側が震災に襲われたときの対応を考えざるを得ない状況があるように思います。マスコミでは富士山が噴火した場合や首都直下地震、東海・東南海・南海の3連動地震など、最悪の事態に備えての報道が相次いでいます。太平洋側が大きな災害に見舞われた際、日本海側からの救援が重要である

●『たてやま海まちフェスタ2012』に参加しました

(関東地方整備局 港湾空港部)

平成24年7月1日(日)に館山港の「渚の駅”たてやま”」をメイン会場として「たてやま海町フェスタ2012」(たてやま海まちフェスタ実行委員会・館山市・館山市教育委員会主催)が開催されました。

このイベントは館山市の推進する「海辺のまちづくり」事業の一環として、市民や観光客が海や船に親しむ機会を創出し、「海辺のまちづくり」への理解を広めることを目的しており、本年度で11回目になります。



「べいくりん」船内見学会

当事務所は清掃兼油回収船「べいくりん」の船内見学とパネルと模型による展示を行いました。当日の天候は時々小雨混じりではありましたが、船内見学には約450名の来訪者があり盛況でした。特に「べいくりん」のスキッパー(海面からゴミを拾い上げる装置、別添写真参照)の操作と模型の展示が見学者の興味を引いていました。

●『瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定』締結式について

(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会事務局)

平成24年6月1日(金)、大分県別府市亀の井ホテルにて、瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定締結式を行いました。

この協定は、平時は瀬戸内海の海の路を通じた地域振興や魅力発信により地域間の絆を深め、災害時には平時に構築された有機的な海の路のネットワークを活かして、相互に応援を行うことを目的としています。

締結式には平成24年3月29日に締結した28会員に、5月22日に締結した6会員を加えた計34会員のうち、13会員である市町村長が参加し、まず始めに協定運営協議会幹事市である入山欣郎 大竹市長より、「多くの会員がこれからの参加を検討することで、さらなる協力体制の構築が期待でき、また本協定を通じて、海ネット会員の絆が更に深まることを期待しています。」との開会挨拶があり、出席者の紹介、締結状況の報告を行い、来賓の福田功前国土交通省大臣官房技術参事官より「重要な視点として早期の復旧・復興を果たすためには、海上輸送の特性を生かして、事前に災害時の相互補完のネットワークを確立しておく事が必要であり、その様な点からも、皆様方の取り組みが大いに参考になるものと考えておりますので、今後なお一層のご努力をされることを期待しています。」との閉会挨拶をいただきました。

また、最後には11市1町1村の13首長による記念撮影を行いました。

協定締結市町村（平成24年5月22日現在）

（大阪府）貝塚市、高石市、岬町

（兵庫県）姫路市、南あわじ市、播磨町

（和歌山県）海南市

（岡山県）玉野市

（広島県）竹原市、三原市、尾道市、大竹市、廿日市市、江田島市、坂町

（山口県）下関市、宇部市、山口市、防府市、光市、柳井市、山陽小野田市、周防大島町

（徳島県）小松島市

（香川県）高松市、丸亀市、坂出市

（愛媛県）松山市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、上島町

（大分県）姫島村

【写真左より】



高石市長	阪口伸六、
光市長	市川 熙、
下関市長	中尾友昭、
八幡浜市長	大城一郎、
岬町長	田代 堯、
竹原市長	小坂政司、
大竹市長	入山欣郎、
宇部市長	久保田后子、
防府市長	松浦正人、
江田島市長	田中達美、
山陽小野田市長	白井博文、
玉野市長	黒田 晋、
姫島村長	藤本昭夫
	（敬称略）

●愛媛県二神島沖船舶衝突事故による流出油防除作業について

（四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所）

平成24年6月4日午後10時10分頃、愛媛県松山市二神島西南西約1.5キロメートルの海上において、貨物船「第五天光丸」（199トン）と押船「翔洋丸」（121トン）の衝突事故が発生しました。この事故によって、押船「翔洋丸」が沈没し油の流出がありました。

当所では、第六管区海上保安本部からの要請を受けて、海面清掃兼油回収船「いしづち」及び港湾業務艇「くるしま」を出動させ、沈没した海域付近にて防除作業（放水・航行拡散）や情報収集作業を実施しました。



航行拡散中の「いしづち」

